

## 新宮山彦ぐるーぷ第2060回

### 持経宿・平治宿迎春準備巡回整備

◇実施日；2019年12月14日（土） 晴

◇参加者；沖崎吉信、児嶋道夫、大江加予子・畑林清子、濱野兼吉、生熊敏男・千満子、豊嶋寛、中前偉、高階美根子、奥村順夫、竹中卓治、村吉光夫、志岐敬、梶野照雄、15名

午前7時30分新宮組7名は沖崎、豊嶋車に分乗し出発。途中熊野川行政局で中前さんを拾い、集合場所の下北山スポーツ公園を目指す。今朝はこの冬一番の冷え込み途中169号線の九重の道路標識の温度計は1度。川霧もよく出て上空からみれば素晴らしい雲海が見えるのだろうか、と想像する。



スポーツ公園に集合

持経宿に到着

持経千年桜

スポーツ公園に到着すると紀北組と梶野、志岐さんも到着し、村吉さんは遅れるとのことで、沖崎代表より本日持経宿千年檜組と平治宿組に分かれ、迎春準備と水場の確認を行うとの行動指示

が出る。今日は下北山の土曜朝市と、役場や商工会の人たちが駐車場のイルミネーションの準備の作業に集まっている。それぞれ知り合いと挨拶を交わし、持経宿を目指して出発。  
池郷林道は落石もなく、また法面工事も終了したのか工事関係者や重機もなく順調にゲートまで進む。ゲートを過ぎたところで冬枯れの樹木の間をうっすら雪化粧した釈迦岳の秀麗な姿が見える。冬季限定の眺望である。順調良く進み持経宿に到着  
持経宿・千年檜組には、沖崎、大江、畑林、生熊敏、奥村氏らが残る。他の者はカレンダー、御神酒、注連縄等を持参して平治に向かう。竹中、中前さんは千年檜の注連縄張り替えの梯子を運ぶ。



平治宿に到着

ドラム缶の水を抜く

水場の清掃

奥駆道は尾根に出ると風が強く吹きさらす。天気が良く日も差すのだが、稜線を吹き抜ける風は冷たい。中又尾根で休憩し平治宿へ。

平治宿ではトイレ用のドラム缶、小屋の貯水槽の水を抜いて凍結しないように横に置く。今年は暖かいのだから全然凍結していない。児嶋さんはチェンソーで前回伐採した雑木で、焚火を作る。生熊、高階さんは小屋の中の清掃。

志岐さんは先に水場に降りている。中前、梶野、竹中さんと私も続いて水場に向かう。水場は水が涸れ、落ち葉や泥が流入していて、それを浚いきれいにする。水の中にシーボルトミミズが10匹近く流れ込んでいて、それも取り除く。志岐さんが全部一人で作業してくださって小屋に戻る。



再び蓋を被せる

薪造り

窓ガラスの拭き取り

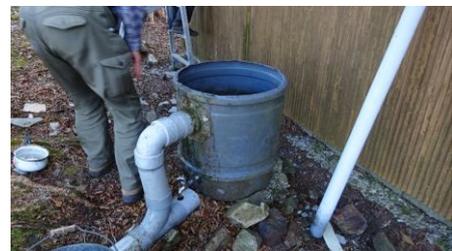
小屋では村吉さんも到着して、ストーブに火が付き暖かい。窓のサッシもきれいに磨かれ、入り口に注連縄が張られ、カレンダーと御神酒も揃って、すっかり迎春準備ができたところで昼食。食後は「カフェこじま」コーヒーとお菓子がでて寛ぐ。この小屋が改修されたとき古銭が沢山出たらしいが、いつの時代の物なのかと聞かれたが・・・、知っている者がいなかった。

梶野さんは備え付けのカメラの向きを変え、志納金の回収をして作業は終了。小屋前で記念撮影をして帰路につく。

帰りは風がさらに強まり煽られないよう女性陣は気をつけて歩いたとのこと。途中第1回千日刈り峰行「昭和59（1984）

年6月9日〜10日」の標識は村吉さんが拵えて設置したもので、手の込んだ技法も本人から教えていただいた。千年檜の注連縄もお堂のお供えも新しくなり迎春準備がすっかり整った。きれいに

なった分ゴミも沢山出て沖崎さんの車は来たときよりも荷物が増えた。



雨水槽を空に

玄関のしめ飾り

平治宿班10名

持経宿に戻って、行者堂や小屋もきれいに片付き、迎春準備が整ったところで記念撮影。村吉さん自家製の白菜をお土産に全員に頂く。最後に水場を確認していないとのこと、梶野さんはじめ数名が行く。水場は枯れることなく順調に出ているとの報告を受けた。村吉さんはもう少し焚木を作ると残り、志岐さんは今夜持経に宿泊し、明日前鬼に廻って奈良に帰るとのこと、二人を残してスポーツ公園に向かう。

スポーツ公園ではイルミネーションの作業がまだ続いていて、点灯の点検中である。われわれは沖崎代表より来週日曜日の行仙宿での迎春準備が今年最後の行事なるので、協力よろしくとの要請を受け帰路についた。

持経宿での作業

【千年檜】 しめ縄の取替、祠のお供え取替（酒、菓子、檜）迎

春用品（餅）、清掃と整理

【持経宿小屋】 雨水槽（2基）の水抜き、お堂の清掃、お供え

取替、迎春用品

トイレの清掃、小屋内の清掃、窓ガラスの拭き取り、不用品の持ち帰り、貯水槽の解体

今年も生熊敏男さんに千年桧のしめ縄を仕上げて頂き、5人で千年桧に出向いた。女性陣は祠、男3人はしめ縄の張替えを行う。例年担当しているので、作業手順は慣れたもの。仕上がりは早い。持経宿に戻り、奥村君は貯水槽の解体を行うが、しばらく悪戦苦闘していた。生熊、沖崎の2名で小屋周りの整備、清掃を行う。

この日、村吉さんは夜中3時まで勤務されて、少しの仮眠の後、遅れて持経宿に到着された。すぐに、非常食の交換のため平治宿に向かわれた。また、全員に白菜を頂いた。

池郷林道は、途中車を降りることなく、順調に通過できた。白谷林道は詳細不明。

持経宿小屋、平治宿小屋共に異常無し。持経宿のお堂とトイレの板壁にカビが目立つ。対策が必要だ。



貯水槽解体(持経宿)

本日の参加者(15名)

持経宿の水場

この日は晴天で気温も高めであったが、風が非常に強く、トイレの汲み出しはできなかった。

(記：濱野、沖崎。写真：梶野)

### 行動タイム

新宮07:30→08:40スポーツ公園→09:45→持経小屋09:55→10:55平治小屋12:45→13:35千年桧→14:15持経小屋14:45→スポーツ公園15:25解散